

トピックス

夏かぜの流行状況（手足口病と咽頭結膜熱）（第 7 報）

1 手足口病

第 29 週（7 月 14 日～7 月 20 日）の定点あたりの報告数は 6.69 と、感染症新法の施行（平成 11 年 4 月）以降最も報告数の多かった平成 11 年第 27 週の 3.91 の 1.7 倍にも達しました。

第 32 週（8 月 4 日～8 月 10 日）には 2.6 と急激に減少しましたが、流行発生警報が発令されている地域は第 32 週現在、県内 17 の保健所管轄地域のうち先週と同じく 12 地域と、現在でも県内の半数以上の地域で警報が発令中です。

一方、全国における報告数も、第 29 週（7 月 14 日～7 月 20 日）に定点あたりの報告数が 4.98 に達した後、第 30 週（7 月 21 日～7 月 27 日）には 4.07 と減少しており、愛知県と同じ第 29 週がピークであったと考えられます。

手足口病患者からの病原体検出状況として、愛知県では平成 12 年度以降検出されていなかったエンテロウイルス 71 型が第 32 週に検査結果が判明した（患者検体は 6 月に当所へ搬入されたもの）患者 5 名から検出されました。一方、全国的には第 11 週（3 月 10 日～16 日）以降エンテロウイルス 71 型が多数検出されており、8 月 8 日現在、全分離ウイルス報告数 149 株のうち、エンテロウイルス 71 型が 107 株、71.8% を占め、次いでコクサッキー A16 型が 27 株（18.1%）、コクサッキー A2 型等その他のウイルスが 15 株（10.1%）となっています。

エンテロウイルス 71 型については、1997 年のマレーシア・サラワク州（ボルネオ島）での、1998 年と 2000 年の台湾での流行時には死亡者（それぞれ 30 名、50 名）も出ています。我が国でも 2000 年には、手足口病患者から分離された病原ウイルス 749 株のうち、エンテロウイルス 71 型が 50% 程度を占めていましたが、2001 年（分離株総数 390 株）及び 2002 年（同 422 株）にはコクサッキー A16 型が 70～80% 程度を占め、エンテロウイルス 71 型は 10% 以下でした。

下表に、平成 15 年 4 月 1 日以降 8 月 12 日までと、平成 12 年度～平成 14 年度に愛知県衛生研究所に寄せられた手足口病患者検体から分離されたウイルスの種類および株数を示しました。この表から分かるようにエンテロウイルス 71 型は平成 12 年度（2000 年）には分離株の約 80%（24/31 株）を占めていましたが、平成 13、14 年度には全く分離されませんでした。

| 年度 | 患者数 | 全分離株数 | 分離ウイルス型(株数) |
|----|-----|-------|--|
| 15 | 47 | 20 | * エンテロ 71(5) コクサッキー A16(13)、アデノ 1(1) / 3(1) |
| 14 | 45 | 30 | コクサッキー A16(27)、エコー 13 (3) |
| 13 | 55 | 38 | コクサッキー A16(35)、その他アデノ等(3) |
| 12 | 70 | 31 | * エンテロ 71(24) コクサッキー A6(2) / A10(2) / A16(1) エコー 3(1)、アデノ 2(1) |

今回の検出結果から、愛知県においても6月以降エンテロウイルス71型による手足口病患者が発生しているものと考えられます。各医療機関では手足口病患者の診療に際し、このことをご考慮くださると共に、病原体検査定点からの検体提出を、重ねてお願いいたします。

2 咽頭結膜熱

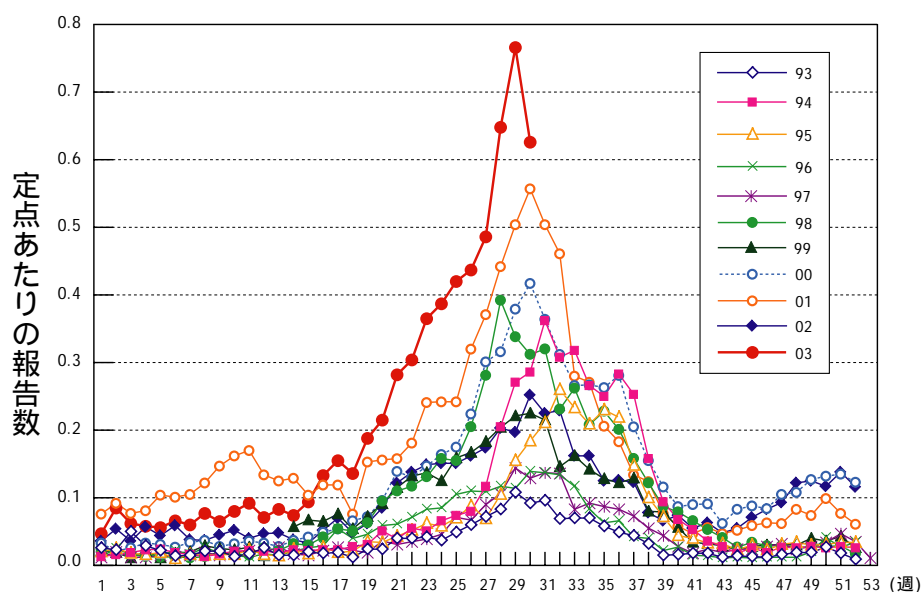
第29週(7月14日～7月20日)に定点あたりの報告数0.63と最高値を記録した後も、第30週0.57、第31週0.58と最高値に近い値で推移して来ました(平成11年以降の愛知県での最高値は平成13年第29週の0.77)。

しかしながら第32週(8月4日～8月10日)には0.47と減少しており、すでに流行のピークを過ぎたものと考えられます。

流行発生警報地域としては第32週に春日井保健所管轄地域が新たに加わり、豊田市、豊橋市、岡崎市、それに、豊川及び知多保健所管轄地域の6地域となっています。

一方、全国における報告数は図に示すように、第29週(7月14日～7月20日)には0.77と増加、これまでの最高値(平成13年の0.56)を更新して過去11年間では最大の流行となりました。第30週(7月21日～7月27日)には0.63と減少しましたが、依然として過去最大の流行が継続しています。

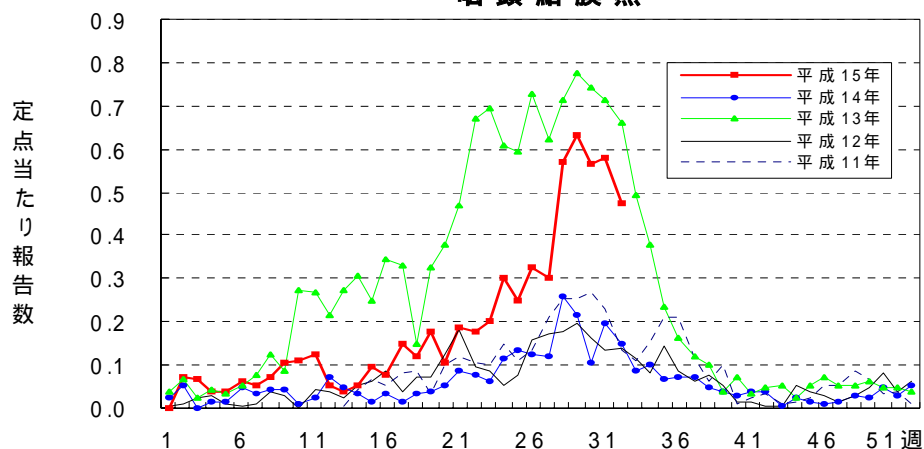
図. 過去10年間の咽頭結膜熱の週別定点当たり報告数(全国)



* 国立感染症研究所感染症情報(週報)2003年第30週(7月21日～7月27日)から転載

流行状況

咽頭結膜熱

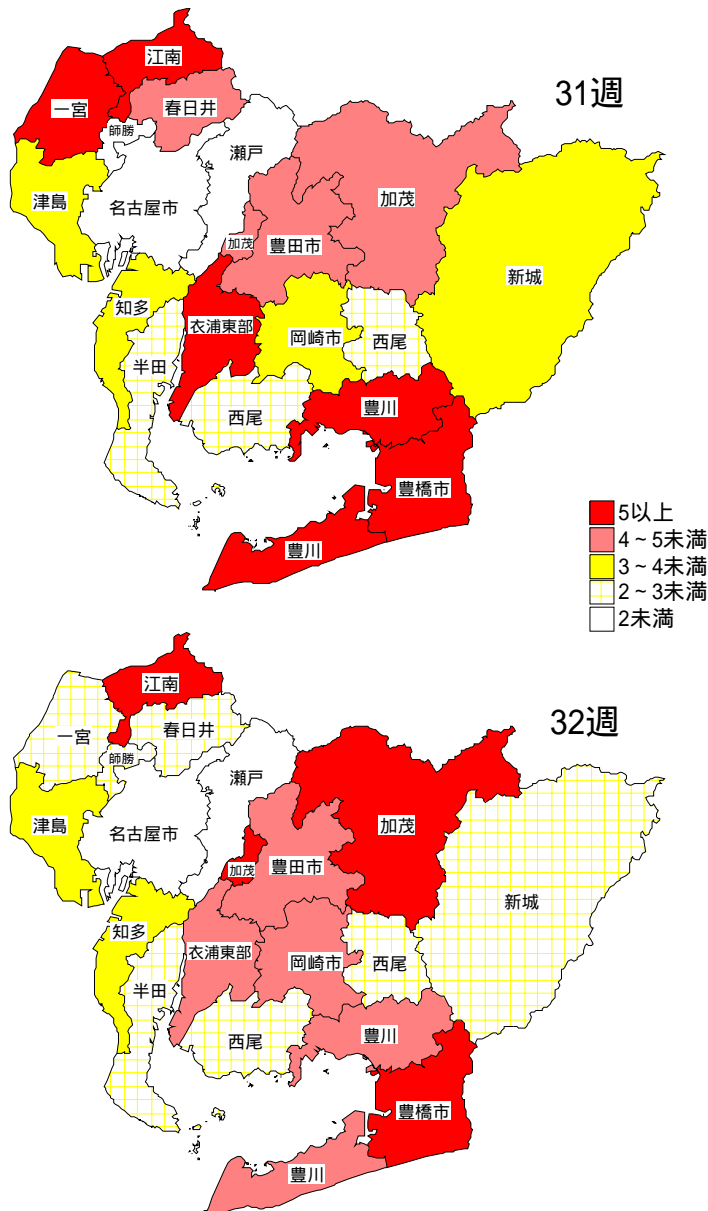


| 疾患名 | 前週 | 今週 | 備考 |
|----------------------|----------|----------|--|
| <u>手足口病</u> | 3.6 | 2.6 | 夏かぜウイルスの飛沫、経口、水疱からの感染。口の中、手や足の先の水疱性発疹 |
| <u>ヘルパンギーナ</u> | 2.1 | 1.9 | 夏かぜの一つ。咽頭に赤いリングの小水疱と浅い潰瘍 |
| <u>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</u> | 0.65 | 0.48 | レンサ球菌のうち血清型分類のA群に分類されるものによる上気道感染症 外から帰った時には、必ず手洗いとうがいをしてください。 |
| <u>咽頭結膜熱</u> | 0.58 | 0.47 | 発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とする急性のアデノウイルス感染症 |
| <u>麻疹（はしか）</u> | 0.01 | 0.05 | 予防にはワクチンが有効 |
| <u>マイコプラズマ肺炎</u> | 0.85 | 0.38 | マイコプラズマとよばれる病原体による空咳と胸痛が特徴的な肺炎 5定点からコメントでの患者発生報告あり |
| <u>無菌性髄膜炎</u> | - | 0.08 | 細菌以外のウイルス等による髄膜炎のこと 2定点からコメントでの患者発生報告あり |

| 定点当たり報告数 | 定点当たり報告数 | 定点当たり報告数 |
|----------|----------|----------|
| 横ばい | 増加 | 減少 |

感染症についての説明及びグラフ総覧については、
愛知県衛生研究所のホムページをご覧ください。
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>)

手足口病の保健所別報告数の推移(名古屋市含む)

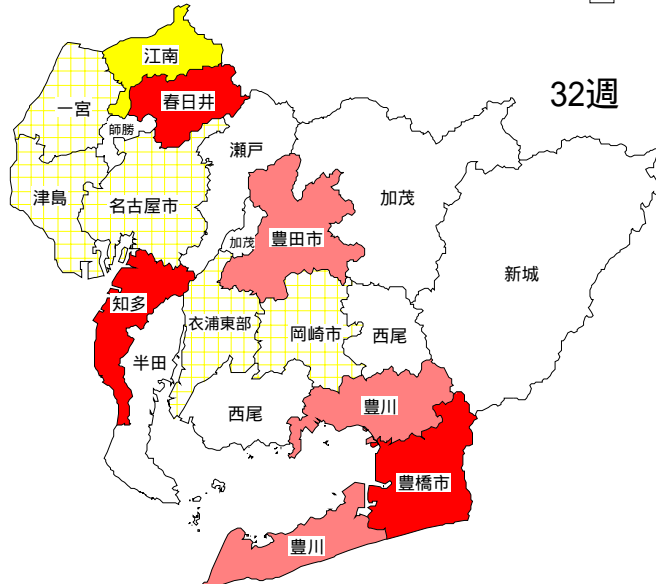
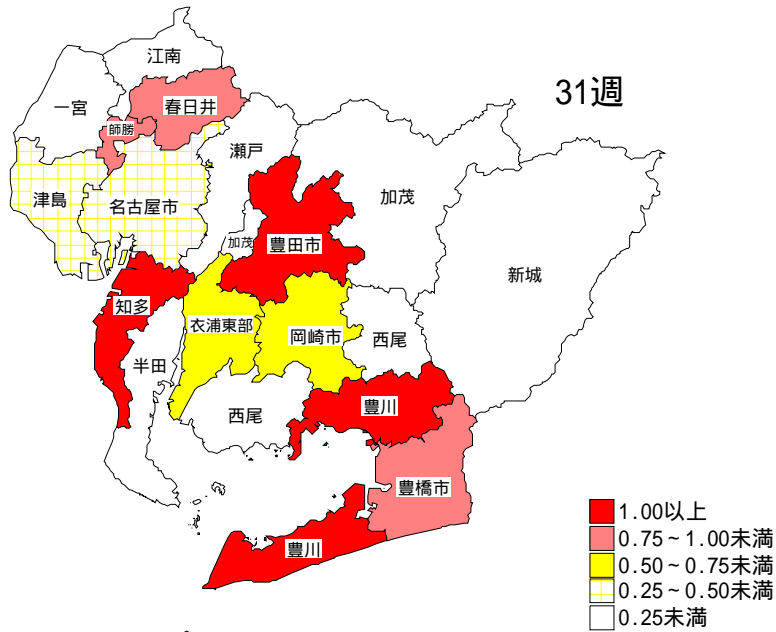


| | 32週 | 定点 当たり | 31週 | 定点 当たり | | 32週 | 定点 当たり | 31週 | 定点 当たり |
|------|-----|-----------|-----|-----------|------|-----|-----------|-----|-----------|
| 名古屋市 | 67 | 0.96 | 116 | 1.66 | 岡崎市 | 28 | 4.00 | 24 | 3.43 |
| 瀬戸 | 11 | 1.22 | 14 | 1.56 | 衣浦東部 | 44 | 4.00 | 74 | 6.73 |
| 津島 | 21 | 3.00 | 24 | 3.43 | 西尾 | 14 | 2.80 | 10 | 2.00 |
| 師勝 | 8 | 2.00 | 5 | 1.25 | 豊田市 | 33 | 4.13 | 37 | 4.63 |
| 一宮 | 34 | 2.83 | 66 | 5.50 | 加茂 | 19 | 6.33 | 13 | 4.33 |
| 春日井 | 22 | 2.44 | 40 | 4.44 | 豊橋市 | 44 | 5.50 | 59 | 7.38 |
| 江南 | 54 | 9.00 | 51 | 8.50 | 豊川 | 39 | 4.88 | 75 | 9.38 |
| 半田 | 17 | 2.83 | 14 | 2.33 | 新城 | 4 | 2.00 | 6 | 3.00 |
| 知多 | 22 | 3.14 | 24 | 3.43 | | | | | |

■は今週警報が発生している保健所です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによる手足口病の流行発生警報は保健所(市)定点当たり5.0人を越えた場合に発生し、2.0人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

咽頭結膜熱の保健所別報告数の推移(名古屋市含む)



| | 32週 | 定点 当たり | 31週 | 定点 当たり | | 32週 | 定点 当たり | 31週 | 定点 当たり |
|------|-----|-----------|-----|-----------|------|-----|-----------|-----|-----------|
| 名古屋市 | 27 | 0.39 | 31 | 0.44 | 岡崎市 | 2 | 0.29 | 4 | 0.57 |
| 瀬戸 | 1 | 0.11 | 1 | 0.11 | 衣浦東部 | 5 | 0.45 | 7 | 0.64 |
| 津島 | 3 | 0.43 | 3 | 0.43 | 西尾 | 1 | 0.20 | 0 | 0.00 |
| 師勝 | 0 | 0.00 | 3 | 0.75 | 豊田市 | 6 | 0.75 | 15 | 1.88 |
| 一宮 | 4 | 0.33 | 2 | 0.17 | 加茂 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 春日井 | 11 | 1.22 | 8 | 0.89 | 豊橋市 | 8 | 1.00 | 7 | 0.88 |
| 江南 | 4 | 0.67 | 0 | 0.00 | 豊川 | 6 | 0.75 | 15 | 1.88 |
| 半田 | 1 | 0.17 | 0 | 0.00 | 新城 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 知多 | 7 | 1.00 | 9 | 1.29 | | | | | |

は今週警報が発生している保健所です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによる咽頭結膜熱の流行発生警報は保健所(市)定点当たり1.0人を越えた場合に発生し、0.1人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

病原性大腸菌O1 25歳女
病原性大腸菌O18 4歳男、1歳男
病原性大腸菌O20 1歳女
病原性大腸菌O25 5歳女、35歳女
病原性大腸菌O126 8歳男
病原性大腸菌O166 2歳男
カンピロバクター 81歳女
エンテロウイルスによる高熱の患者さんが多い。

【尾西市 城後小児科】

マイコプラズマ肺炎 11歳女

【稲沢市 野村整形外科】

カンピロバクター 4歳女（他2人の家族）
今年は海外旅行 減少のためか、エルシニア感染症が見られません。

【犬山市 武内医院】

手足口病、ヘルパンギーナ減少しています。
咽頭結膜熱 少し増加してきています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

手足口病 多発しています。水痘、ムンプスも散発。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

2歳男 マイコプラズマ感染症
再びヘルパンギーナが流行しているようです。

【春日町 丹羽医院】

尾張東部地区

病原性大腸菌O25 3歳男2名
大腸菌O1 + カンピロバクター 3歳男
無菌性髄膜炎 5歳男

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

溶連菌流行終息したようです。
今週もヘルパンギーナ多数認められました。
手足口病はさほど増加なし
流行性耳下腺炎小流行持続
マイコプラズマ肺炎多くみられます。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

ヘルパンギーナ多数
水痘、手足口病つづいています。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

ヘルパンギーナは少し下火になりました。

【春日井市 かちがわ北病院】

無菌性髄膜炎 減少傾向
手足口病も減少
アデノ感染多し

【小牧市 小牧市民病院】

伝染性紅斑が多く見られます。

【小牧市 志水こどもクリニック】

ヘルパンギーナが多いです。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

アデノ咽頭炎 9カ月男

【東海市 東海市民病院】

ヘルパンギーナ増加傾向か？

【東海市 小児科八ヤカワ医院】

夏休みに入って感染症減ってきました。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

5歳女、8歳女 イムノカードSTアデノウイルス*1(+)

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

*1 イムノカードSTアデノウイルス：アデノウイルス抗原検出用キット

3歳女 サルモネラ腸炎

3歳男 病原性大腸菌O78

4歳男 帯状疱疹

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

7歳男 サルモネラO7群

【岡崎市 医療法人深田小児科】

1歳男 サルモネラ菌O18群

1歳男 病原大腸菌O6

3歳男 病原大腸菌O153

11歳女 黄色ブドウ球菌(+)

11歳女 カンピロバクター(+)

【岡崎市 花田こどもクリニック】

2歳女 ICアデノ*2(+)

1歳男、6歳女 病原性大腸菌O1 VT(-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

*2 ICアデノ：アデノウイルス検出キット

5歳男、8歳女 カンピロバクター

2歳女 病原性大腸菌O1

2歳男 病原性大腸菌O128

30歳男 腸炎ビブリオ

3歳男 マイコプラズマ肺炎

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

伝染性紅斑時々あり。

【碧南市 永井小児クリニック】

手足口病は減少

流行性耳下腺炎多く11人

【知立市 宮谷クリニック】

4 歳男 手足口病 本年 2 度目

【西尾市 やすい小児科】

7 歳男 カンピロバクター腸炎

2 歳男 手足口病 本年 2 回目

【西尾市 山岸クリニック】

1 ヶ月男 S S S S (ブドウ球菌性熱傷用皮膚症候群)

1 歳男 病原性大腸菌 O 166 V T (-)

【幸田町 とみた小児科】

手足口病、ヘルパンギーナ、感染性胃腸炎が目立ちます。

【三好町 三好町民病院】

東三河地区

4 歳男サルモネラ

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

マイコプラズマ肺炎 2 人 (10 歳女、3 歳男)

【豊橋市 野村小児科】

マイコプラズマ肺炎の治癒期の 8 歳男、弟に 21 日遅れて水痘発病

【蒲郡市 医療法人鈴木小児科医院】

1 ~ 3 類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

腸管出血性大腸菌感染症

| 番号 | 報告 保健所 | 年齢 | 性別 | 発病 月日 | 初診 月日 | 診定 月日 | 菌型等 | 備考 |
|----|-----------|----|----|----------|----------|----------|-------------------------------|-------------|
| 1 | 加茂 | 20 | 女 | | 8 / 5 | 8 / 9 | O 157 VT1(+) VT2(+) | |
| * | 岡崎市 | 6 | 男 | 8 / 6 | 8 / 6 | 8 / 12 | O 157 VT1(+) VT2(+) | 33 週 報告分 |

全数把握の 4 類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

急性ウイルス性肝炎 2 例 (B 型 : 1 例、C 型 : 1 例)

ジアルジア症 1 例 (31 週報告分)

* 15 週報告分のバンコマイシン耐性腸球菌感染症について
訂正 (削除) 報告あり。

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

お盆というのに雨の日が多くて薄ら寒い毎日です。夏の日差しの下、お寺の境内の庭の蝉の声にタモをそっと幹に近づけてワクワクしていたことを思い出します（よく言われることですが、最近の子供たちは蝉取りなんてしないから、オジサンのほうが上手です）。いつも貴重な情報を有難うございます。7月後半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からはヘルパンギ - ナと手足口病が圧倒的に多く水痘散見、入院患者では無菌性髄膜炎とヘルパンギ - ナを含めた咽頭炎・扁桃炎が多いが重症のウイルス性胃腸炎も目立つ、第一日赤松山先生からは手足口病多発、水痘とムンプス、百日咳、溶連菌感染症が散見、無菌性髄膜炎 5 例、咽頭結膜熱の入院 2 例、気管支炎入院 6 例、第二日赤岩佐先生からはヘルパンギ - ナ、手足口病が目立ち入院では無菌性髄膜炎が目立った、千種区今枝先生からは伝染性紅斑が保育所でぼつぼつ発生、水痘と感染性胃腸炎、手足口病各 1 例、伝染性膿痂疹数例あり、三菱病院入山先生からは溶連菌感染症が 4 - 5 名、水痘、手足口病（要入院例 1 例）、ヘルパンギ - ナ、感染性腸炎各数例、マイコプラズマを含む肺炎 5 - 6 名、咽頭炎で 4 - 5 日高熱あり食欲低下、倦怠感のための入院 7 名あり、中京病院柴田先生からは手足口病増加、労災病院山田先生からは胃腸炎、ヘルパンギ - ナ、手足口病が目立ち溶連菌感染症散発、仮性クル - プと感染症をきっかけとした喘息発作が多い、大同病院水野先生からは手足口病で高熱（2 - 5 日）が続く例が多く激しい頭痛の子もいるが中枢神経合併症はない、マイコプラズマ肺炎が相変わらず多いがヘルパンギ - ナ、咽頭結膜熱は減少したとのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からは手足口病が多発中で溶連菌咽頭炎、アデノウイルスによると思われる咽頭炎が流行中、感染性胃腸炎、水痘、伝染性紅斑がそれぞれ流行中、江南市昭和病院小児科からはヘルパンギ - ナ、手足口病が目立ち、入院例ではウイルス性髄膜炎、アデノウイルス感染症が目立つ、常滑市民病院上田先生からはムンプス、ヘルパンギ - ナ、細菌性腸炎（サルモネラ、カンピロバクタ - 、病原性大腸菌、入院例あり）、ヘルペス口内炎、咽頭結膜熱の入院目立つとのお手紙でした。
- 3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からは外来患者少なくなっているが手足口病が散見、扁桃腺炎、アデノウイルス感染症で入院例散在、手足口病髄膜炎入院例あり、知立市近藤先生からは手足口病が 0 - 10 歳に流行中、溶連菌感染症とマイコプラズマ感染症パラパラ、ムンプスが多くなったが髄膜炎合併例はない、刈谷市田和先生からは手足口病とヘルパンギ - ナは減少、ムンプスと水痘を散見、碧南市永井先生からは手足口病とムンプスが引き続き流行中で伝染性紅斑散発中、豊橋市宮澤先生からは手足口病が目立ちヘルパンギ - ナ、ウイルス性気管支炎などが少々あり、とのお手紙でした。有難うございました。

愛知県衛生研究所企画情報部 (文責 磯村)

2003年7月18日(78巻29号)

ペスト: アルジェリア。7月9日時点でアルジェリア保健省はオラン地区でペストの確定診断例10例、疑似1例の発生を発表した。同省とWHOの協力チームが対策立案のための疫学調査を実施中。患者発生の場合や、現在不明のペスト菌の現地での伝播の実態が調査されている。

コレラ: リベリア。5月30日 - 6月29日の間1280例(死亡15)発生、6月30日 - 7月6日に350例の新規患者発生、首都モンロビアの患者数は1630例(死亡15)となった。同国における紛争で実態把握が困難である。国境なき医師団等のNGOが同市の国内難民を対象に下痢センター - 設立、WHOとユニセフが同市と周辺部の水源の消毒と住民教育を実施中。

レブラ(本邦ではハンセン病ですがWHOのレポートは leprosy です): 根絶を目的とした計画。WHOは1995年多剤併用療法(MDT)を採用。人口1万当り1例以下を目標に患者数減少の努力を継続、特に加療困難な地区として 医療機関から遠隔な人々、 医療機関の少ない都市部スラム地域に重点が置かれている。95年から02年に28カ国の常在国(一覧表あり。人口10万当りの患者数はアフリカ地区で147、南北アメリカ58、東地中海地区197 - 特にス - ダンとソマリアが目立つ - 、東南アジア88 - 特にインド - 、西太平洋地区23)で86件の根絶活動が継続中。活動の改善のために医療機関のない地域では、1ヵ月分以上の薬を無料で渡して自己管理をさせたり、家族や集落の首長に管理させるなどの工夫がされ、隣接する数地区を合併して医療参加の機会を増したり、コミュニティ全員の活動参加なども実施されている。参加した患者の追跡が困難な地区が多いことが問題となっている。

SARS: WHOは7月5日、SARS発生終結宣言を発表した。

7月11日 - 17日届出。コレラ: 香港、インド、イラク。

03年7月25日(78巻30号)

ポリオ根絶: アフガニスタンとパキスタン。1988年、WHOのポリオ根絶計画が開始されてからポリオ常在国の数は127から7カ国に減少した。アフガニスタンとパキスタンはこの7カ国に入っているが実績はあがっている。2カ国ではあるが地理的に隣接、頻繁な住民の移動、流行野生株の遺伝子構造の一致、などから疫学的には同一地区とみなされている本報はWHOに報告された02年1月 - 03年5月の状況である。 定期接種率: 1歳までのOPV3回接種率は02年でアフガニスタン48%(地区により6%から84%の差)、パキスタン71%と報告されている。 定期外接種: 00年以来、戸別訪問による定期外接種が年4回全国で、発生地区ではさらに3回加えて実施されている。実施状況は接種チームと別の監視チームが調査している。 発生状況: 急性弛緩性麻痺届出数/ポリオ野生株届出数は、パキスタンで02年1802例(90例)、03年980例(39例)、アフガニスタンで02年335例(10例)、03年226例(1例)であった。 発生地区と流行株: 発生届出の多い地区はパキスタンでは南部シンド州と北西辺境州、アフガニスタンではパキスタンとの国境地帯であり、流行株は1型、ついで3型、2型はゼロであった(地図あり)。

WHO感染症関連のウェブサイト一覧表。

7月18日 - 24日届出。コレラ: 中国、イラク、コンゴ、リベリア。

第30週(15年7月21日~7月27日)の4類感染症 (全国)

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多く、また、過去10年間の同時期と比較して、本年16週以降最高の値で推移している。都道府県別では大分県(2.1)、長野県(1.4)、香川県(1.3)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では、宮崎県(2.1)、山口県(1.8)、富山県(1.5)が多い。手足口病の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では広島県(13.4)、山口県(12.7)、愛媛県(9.3)が多い。マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は微増して0.21で、過去4年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では岡山県(1.6)、奈良県(1.0)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は大きく減少し、都道府県別では宮城県(10.3)、福島県(9.2)が多い。無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は減少して0.16で、都道府県別では奈良県(1.3)、京都府(1.2)が多い。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - 感染症情報室提供)

詳細は感染症情報センター - のホームページ (<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>) の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

愛知県感染症情報

2003年第1週～第32週(平成14年12月30日～平成15年8月10日)(累計)

愛知県衛生研究所

| 年齢階層 (名古屋市を除く) | インフルエンザ | 咽頭結膜熱 | A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎 | 感染性胃腸炎 | 水痘 | 手足口病 | 伝染性紅斑 | 突発性発疹 | 百日咳 | 風疹 | ヘルパンギーナ | 麻疹 | 流行性耳下腺炎 | 急性出血性結膜炎 | 流行性角結膜炎 | 急性脳炎 (日本脳炎を除く) | 細菌性髄膜炎 | 無菌性髄膜炎 | マイコプラズマ肺炎 | クラミジア肺炎 (オウム病は除く) | 成人麻疹 | |
|-------------------|---------|-------|-------------------|--------|-------|-------|-------|-------|-----|----|---------|-----|---------|----------|---------|-------------------|--------|--------|-----------|----------------------|------|---|
| 計 | 38,580 | 822 | 4,763 | 17,563 | 8,721 | 7,680 | 1,019 | 3,303 | 36 | 31 | 3,847 | 101 | 2,941 | 24 | 552 | 1 | 5 | 8 | 120 | 0 | 3 | |
| ～6ヶ月 | 518 | 5 | 10 | 194 | 222 | 65 | 6 | 269 | 6 | | 54 | 2 | 2 | | 1 | | | | | | | |
| ～12ヶ月 | 1,096 | 26 | 24 | 1,116 | 521 | 368 | 37 | 2,013 | 9 | 2 | 346 | 20 | 18 | | 11 | | | | | | | |
| 0歳 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | |
| 1歳 | 3,227 | 136 | 118 | 2,717 | 1,558 | 1,346 | 61 | 942 | 6 | 4 | 955 | 21 | 127 | | 15 | | | | 11 | | | |
| 2歳 | 3,245 | 125 | 273 | 2,008 | 1,462 | 1,337 | 85 | 63 | 3 | 2 | 700 | 7 | 216 | 1 | 12 | | | | 11 | | | |
| 3歳 | 3,321 | 129 | 594 | 1,986 | 1,619 | 1,468 | 109 | 6 | 3 | 1 | 696 | 6 | 444 | 2 | 18 | | | | 11 | | | |
| 4歳 | 3,516 | 116 | 896 | 1,758 | 1,551 | 1,310 | 139 | 1 | 3 | 3 | 478 | 6 | 604 | | 8 | | | | 9 | | | |
| 5歳 | 2,262 | 108 | 902 | 1,358 | 945 | 861 | 150 | 1 | 2 | 5 | 324 | 3 | 583 | 1 | 14 | | | | | | | |
| 6歳 | 1,825 | 53 | 691 | 998 | 392 | 400 | 143 | 4 | | | 130 | 7 | 347 | | 3 | | | | | | | |
| 7歳 | 1,466 | 43 | 387 | 775 | 157 | 178 | 90 | | 1 | 4 | 58 | 2 | 197 | | 3 | | | | | | | |
| 8歳 | 1,304 | 33 | 279 | 636 | 105 | 120 | 82 | 3 | | 3 | 28 | 3 | 138 | | 5 | | | | | | | |
| 9歳 | 1,336 | 13 | 158 | 496 | 57 | 54 | 34 | | | 1 | 28 | 2 | 72 | | 3 | | | | | | | |
| 5歳～9歳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 30 | | | |
| 10歳～14歳 | 4,859 | 13 | 210 | 1,121 | 84 | 75 | 61 | 1 | 2 | 2 | 23 | 16 | 120 | 1 | 24 | | | | 19 | | | |
| 15歳～19歳 | 1,573 | 3 | 19 | 304 | 8 | 7 | 1 | | | | 6 | 3 | 10 | | 26 | | | 1 | 3 | | | |
| 20歳～ | | 19 | 202 | 2,096 | 40 | 91 | 21 | | 1 | 4 | 21 | 3 | 63 | | | 1 | 4 | | | | | |
| 20歳～29歳 | 2,768 | | | | | | | | | | | | | 9 | 85 | | | 2 | 7 | | | 2 |
| 30歳～39歳 | 3,054 | | | | | | | | | | | | | 1 | 118 | | | 1 | 7 | | | |
| 40歳～49歳 | 1,182 | | | | | | | | | | | | | 2 | 57 | | | 2 | 4 | | | 1 |
| 50歳～59歳 | 892 | | | | | | | | | | | | | 3 | 73 | | | | 1 | | | |
| 60歳～69歳 | 597 | | | | | | | | | | | | | 1 | 42 | | | | 2 | | | |
| 70歳～ | | | | | | | | | | | | | | 3 | 34 | | | | | | | |
| 70歳～79歳 | 352 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | |
| 80歳以上 | 187 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |